

第5回 医療と創造性及び 世界平和シンポジウム

テーマ「医療と武道の対話」
～真の健康を見据えた、統合的な予防医療を目指して～



日時

2021年 10月 3日(日)
開場 12:30 開会 13:00 閉会 16:00

会場

第一薬科大学 薬学部
福岡県福岡市南区玉川町 22 - 1



主催：一般社団法人 Creative Internationals Medical
共催：第一薬科大学 協賛：古天神産業株式会社

シンポジウム プログラム

医療と創造性及び世界平和シンポジウム

「医療と武道の対話」

～真の健康を見据えた、統合的な予防医療を目指して～

13:00

開演

13:10

基調講演・対談

「『道』に秘められた可能性―道と医療」

武術研究者 甲野 善紀先生

軽井沢病院副院長・信州大学特任准教授 稲葉 俊郎先生

パネルディスカッション

①臨床現場からの提言

14:20

「癌免疫自律神経系を回復させるペア―体操」

キャンサーヘルプネット代表・腫瘍内科医 林田 繁先生

「癌治療の展望 ～東洋医療併用の試みを踏まえて～」

青雲会病院 外科医 東 泰志先生

「整形外科とリハビリテーション～体の手入れ、心の手入れ～」

菊野病院・理事長院長 菊野 竜一郎先生

②総合討論

「医療と武道の統合から世界の平和へ」

16:00

終了

※関係者以外の「録音及びビデオ撮影」はご遠慮ください。

2021年五大都市シンポジウムスケジュール

2021年5月	第2回 医療と音楽	名古屋
2021年7月	第3回 医療と青少年教育	大阪
2021年9月	第4回 医療と家庭の健康	札幌
2021年10月	第5回 医療と武道	福岡
2021年11月	第6回 医療とテクノロジー	東京



主催者挨拶

一般社団法人
Creative Internationals Medical

代表 山口 守道

私達 CIM は、「医療を通じて世界平和を実現する」というビジョンの元に、病気そのものを扱う以上に、予防医療を通じて、「平和な地域社会」、「平和な世界」を創造することが、医療本来の役割であると考えています。

その為に、昨年より「医療と創造性及び世界平和」をメインテーマに掲げ、毎回様々な専門分野の先生方を講師に迎えて、医療を統合的に捉え直すシンポジウムを企画して参りました。

第1回「医療による創造性と世界平和とは：創設大会」 帯津良一先生

第2回「医療と音楽の統合」 新見正則先生 武本京子先生 伊藤康宏先生

第3回「医療と青少年教育～心と身体の健全育成～」 中野信子先生 藤原和博先生 藤澤隆史先生

第4回「医療と家庭の健康」 帯津良一先生 石原新菜先生

5回目となる今回シンポジウムは、「医療と武道の対話」をテーマに基調講演とパネルディスカッションを行います。医療が武道との対話を通して本来の健康とは何かを考え、統合的な予防医療を通して人類共通の願いである世界平和をどのようにして実現していくかについて皆さんと共に考える契機となれば幸いです。



理事挨拶

第一薬科大学 看護学部長・教授
CIM九州担当理事

吉武 毅人

Creative Internationals Medical (CIM) の第5回シンポジウムは、第一薬科大学の共催をいただき、初めて大学を会場に開催されることになりました。

今回のシンポジウムは、「医療と武道の対話」をテーマとし、武術研究者の甲野善紀先生と、統合医療研究者の軽井沢病院副院長・信州大学特任准教授の稲葉俊郎先生の講演と対談、実演を予定しております。武術の実演等を通して、日本的な身体操作が心身に与える影響を考え、「健康」を新たな視点から捉え直す、画期的なシンポジウムになると考えております。

世界保健機関(WHO)の「健康」の定義にもありますように、健康とは「病気でないとか、弱っていない」ということではなく、「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」とであるとされています。会場にご参加の皆様とともに、『真の健康』について議論を深めて参りたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。

◇ 基調講演・対談

「『道』に秘められた可能性 — 道と医療」



甲野 善紀先生

武術研究者

武術研究者。20代の初めに「人間にとっての自然とは何か」を探求するため武の道に入り、1978年松聲館道場を建て、独自の武術研究の道に入る。2000年頃から、その技と術理がスポーツ、楽器演奏、介護、などに応用されて成果を挙げ、さらに多くの分野から注目をされるようになり、テレビは「徹子の部屋」や「スイッチ・インタビュー」などに出演。2007年から3年間、神戸女学院大学の客員教授を務めた。

著書に『剣の精神誌』『古武術の発見』（養老孟司共著）『古の武術に学ぶ無意識のちから』（前野隆司共著）『巧拙無二』（土田昇共著）『上達論』（方条遼雨共著）他多数。最新刊は『古の武術から学ぶ老境との向き合い方』月2回、夜間飛行からメールマガジンを発行。

WEBサイト

<http://yakan-hiko.com/kono.html>



稲葉 俊郎先生

軽井沢病院副院長・信州大学特任准教授

1979年熊本生まれ。医師、医学博士、東京大学医学部付属病院循環器内科助教(2014—2020年)を経て、軽井沢病院副院長・総合診療科医長、信州大学社会基盤研究所特任准教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員、東北芸術工科大学客員教授を兼任(山形ビエンナーレ2020 芸術監督 就任)。

【単著】『いのちを呼びさますもの』(2017年)、『いのちは のちの いのちへ』(2020年)(アノニマ・スタジオ)、『ころころするからだ』(2018年、春秋社)、『からだところの健康学』(2019年、NHK出版) 【共著】『見えないものに、耳をすます — 音楽と医療の対話』大友良英×稲葉俊郎(2017年、アノニマ・スタジオ)【翻訳書】『身体デザインに合わせた自然な呼吸法—アレクサンダー・テクニクで息を調律する』(医道の日本社、2018年) など。

WEBサイト

<https://www.toshiroinaba.com/>

◇ パネルディスカッション

① 臨床現場からの提言

「癌免疫自律神経系を回復させるペアー体操」



林田 繁先生

がんヘルプネット代表・腫瘍内科医

1978年 東京慈恵会医科大学卒業。がんヘルプネット(CHN)代表。

2001年がん患者闘(登)病支援のボランティア育成の会を結成。

現在、内藤病院 腫瘍内科・顧問。

「癌治療の展望～東洋医療併用の試みを踏まえて～」



東 泰志先生

青雲会病院 外科医

久留米大学医学部卒業。一心病院にて研修の後、鹿児島大学第一外科入局。

大学を中心に鹿児島の病院に勤務。消化器外科医：専門は胃癌、大腸癌。

現在は青雲会病院外科医として勤務。

「整形外科とリハビリテーション～体の手入れ、心の手入れ～」



菊野 竜一郎先生

菊野病院・理事長院長

帝京大学医学部卒業。日本整形外科学会・整形外科専門医、

運動器リハビリテーション医、スポーツ医、日本骨粗鬆症学会認定医の資格

を持つ。菊野病院院長、医療法人菊野会理事長。

② 総合討論

「医療と武道の統合から世界の平和へ」

シンポジウムスタッフ

企画/運営

吉武 毅人
高橋 弘樹
仲田 恭子

司会

青木 愛珠

音響 / PC

佐藤 智之

カメラ

山田伸一郎
佐々木隆匡
東 祐志
中島 安治

会場

永田 安孝
鈴木 孝光
吉武 将輝
相原 光孝
宮 寄 勝仁

映像

永瀬 長利
山本 剛志
宮崎 旺也
大城 侑也

受付

吉武 珠穂
市丸綾由莉
江崎 愛記
飯間 萌好

会場案内

益本 仁美
青木 苑恵
中村 咲百合
牧野 芳美